

第7次高浜市総合計画審議会（第7回） 会議録

日 時	令和4年7月22日（金）午後7時～8時30分		
場 所	高浜市役所 会議棟	傍聴人数	2名
出席者	委 員	中川幾郎、宮田克弥、前川勉、杉浦秀敏、神谷章一、 酒井幸代、中川健二、横山英樹、深谷直弘 (9名出席)	
	行 政	市長 吉岡初浩 総務部長 杉浦崇臣 市民部長 岡島正明 都市政策部長 杉浦義人 議会事務局長 竹内正夫 秘書人事グループ リーダー 神谷義直 財務グループ 副主幹 弓削健二 経済環境グループ リーダー 東條光穂 地域福祉グループ リーダー 加藤直 介護障がいグループ リーダー 野口恒夫 福祉まるごと相談グループ リーダー 野口真樹 健康推進グループ リーダー 中川幸紀 土木グループ リーダー 清水洋己 都市計画グループ リーダー 島口靖 上下水道グループ リーダー 石川良彦 防災防犯グループ 主 任 本郷光 (16名出席)	
	事務局	企画部長 木村忠好 総合政策グループ リーダー 榊原雅彦 同 主 査 祖父江佑介 同 主 任 多武利康 同 主 任 柘植一馬 同 主 事 東端佑奈 同 主 事 杉浦功暉 (7名出席)	
次 第	1 開会 2 議事 1) 基本計画（個別目標Ⅲ・Ⅳ）について【審議】 2) 第4章「計画の実現に向けて」以降について【審議】 3 その他		
資 料	参考資料1：各個別目標シート（8～13）（案） 参考資料2：第4章「計画の実現に向けて」以降（案） 参考資料3：個別目標シートの見方		

1. 開会
<p>(会長あいさつ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日はご多忙の中、お集まりくださいまして、ありがとうございます。ただ今より第7回高浜市総合計画審議会を開会する。 ・本日は、審議するべき項目数が詰まっているようですので、的確に進めていきたい。

2. 議題	
1) 基本計画（個別目標Ⅲ・Ⅳ）について【審議】	
会長	・それでは、議題1「基本計画（個別目標Ⅲ・Ⅳ）」について、行政サイドから個別目標シートの説明を行った後、目標ごとに区切って、委員の皆様からご意見をお受けしてまいります、事務局より説明をお願いしたい。
土木 GL	(参考資料1「個別目標（8）都市基盤」に基づき口頭にて説明)
会長	・これについて意見があればご発言をお願いしたい。
委員	・課題の中の三つ目について、まちづくり施策というのはどこかにあるのか。どこを参照したらよいか教えてほしい。
都市計画 GL	・都市計画グループが策定した都市計画マスタープランをまちづくり施策というような形で表記をさせていただいている。
委員	・マスタープランとまちづくり施策が別々にあるように感じてしまう。
都市計画 GL	・主としては都市計画マスタープランであるが、それ以外にも様々なまちづくり施策があるので、総体的に踏まえてまちづくり施策というような含みを持たせた形の表現にしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題のところ、前回本市という表現を高浜市に変更してもらったと思うので、ここも本市ではなく高浜市とした方が良いと思う。 ・現状の一番最後のところ、「老朽化が進んでいます」よりも「老朽化が進んでいきます」の方が素直に納得できる。
土木 GL	・現在においても舗装繕など行っているので「進んでいきます」という表現でも問題ない。修正させていただく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・目標をはかる指標についてももう少し取り組みに結び付く指標にならないか。二つ目の「公園を利用している人の割合」を「公園施設の長寿命化をした割合」に。また四つ目の「無料耐震診断の累計件数」について、自前で耐震を行っている人もいると思うので「耐震性の不十分な住宅の割合」としたらどうか。
土木 GL	・「公園の長寿命化」について割合を出すのが非常に難しいので、「公園を利用している人の割合」ということで考えている。
都市計画 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・「無料耐震診断の累計件数」という形で表現しているが、自前で耐震をされた数の把握の仕方も踏まえて指標の表示は検討したい。 ・先ほど委員から話のあったまちづくり施策について、右下に関連する個別計画にリンクするような形で表現を変えさせていただく。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・個別計画のところは都市計画マスタープランを入れないのが逆に引っかかってくる。入れておいてもらいたい。住環境の向上を図るため各種のまちづくりに関する施策に基づくとかすればここは分かりやすかったかもしれない。
経済環境 GL	(参考資料1「個別目標(9)産業」に基づき口頭にて説明)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで地域経済を活性化するために企業誘致や工場の土地の造成をすることで確か小池町も途中だったと思うが、その辺りについて「企業の進出、操業しやすい環境整備」に入ってくるのか。 ・農福連携について農業から見たものなのか、高浜市の福祉に絡んでの福なのかどっちのことを言っているのか。
都市計画 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致に伴う工業用地の関係について、委員がおっしゃるとおり企業が操業進出しやすい環境整備というところで工業用地の創出という意味合いを含めております。
経済環境 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・農福連携について、チャレンジドと言われる障がいをお持ちの方たちに農業を体験していただき、それを職業としていただけるような方策はないかということ検討している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・優良農地の保全と企業進出という表現についてどういう表現がいいか。この表現だと市内の進出企業が増加していますということで、何か不自然に増えているような表現になっているが、ある程度施策をしないと増えないと思う。その辺をどうお考えか。
都市計画 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・企業は現在、内陸の用地を求めているというニーズがある。一方で農業も産業の一つなのでバランスを考えて計画的に農業経営または企業進出を図っていきたいという考えからこのような形の表現をしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・二つ目の企業進出を推進する場について、目標の指標との間の関連があまりなくて、例えば「市内で企業進出をしたいと思っている会社経営者、あるいは従業員が増えつつある」というような指標は検討されなかったか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・こんなことに取り組みますの「いきいき号の見直しを進めます」について、何のためかというのが見えない。これをするとう商業が活性化するか。いきなり出てきているのが不思議である。
都市計画 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の中で企業誘致が直接関わってくる指標は今回設けてない。これまでは法人数だったり、製造品出荷額だとかいろんな統計のデータをもとに指標を表してきた。 ・企業がもたらす効果としては、税収確保だけでなく雇用の創出であったりにぎわいの創出であったり様々な効果があるので企業誘致をすることによっての直接的な指標を表現しづらいこともあり今回の指標をあげていない。
経済環境 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化ということでお店に行きやすいようなバス停を設けているが、年々利用者が減っている。先日も利用者アンケートを行ったので実態に合わせて今後見直しを図っていきたいと考えている。

会長	・委員の質問の趣旨をあえて言うと「一人一人に寄り添った見直し」をするのか「一人一人に寄り添ったは関係なく事業そのものの見直し」をするのかということではないか。
経済環境 GL	・一人一人に寄り添ったというのも利用者がすごく限られているので、今の利用者の方たちがさらに使いやすくなるように、また新しい利用者の方も、呼び込めるようにというような形で全体的な見直しを行っていきたいと思っている。
会長	・見直しは一人一人に寄り添った形に変えていくという意味か。一人一人に寄り添い過ぎているから非効率だという考え方もあるのでどちらなのか。
経済環境 GL	・その辺りも含めて、今後検討していきたい。
会長	・この修飾語は誤解を招くので要注意だと思う。
経済環境 GL	(参考資料1「個別目標(10)環境」に基づき口頭にて説明)
委員	・ごみの解析をされているとは思いますがここ10年、例えばこんなのが減って、こんなのが aumentando というのもあるので、一度大々的に解析をしてそのあたりを指標の項目に入れる気はないか。
経済環境 GL	・ごみの分別や種類、排出されているごみの種類など、年に数回解析を行っている。その中には水分がとても多いということで水を切ってから可燃ごみを捨ててくださいとアナウンスを行っている。他にはプラスチックゴミが多いというのもある。お弁当のガラやビニール袋がなかなか減ってこないという現状がある。プラスチックゴミの法律が新しく出来たので、そちらに合わせて施策を今後考えていきたい。 ・1人当たりのごみの量を減らす施策として、家庭ごみの中で一番大きいのが食品。その食品をいかに減らしていくかということ。昨年度、レシピを募集したり、今年はフードドライブも行ったりしているので今後も継続していきたいと考えている。
委員	・指標に「市の事務事業から排出される温室効果ガスの量」というのがある。21日の新聞に常滑市とサントリー、セントレアのペットボトル水平リサイクルの記事があった。碧南のごみ処理場でやっていることとは別にそういう取り組みもどうか。
経済環境 GL	・ボトル to ボトルの取り組みに関して、昨年度高浜市もサントリーと話している。高浜市の回収の仕組みでは受け入れができないということで、今後話を詰めてリサイクルの方に持っていきけるようやっていきたい。
地域福祉 GL	(参考資料1「個別目標(11)福祉」に基づき口頭にて説明)
委員	・SDGsのアイコンについて1と10と17が上がっているが、3の「すべての人に健康と福祉を」がここに入っているのもいいと思うが。
地域福祉 GL	・3も検討したが3についてはどちらかというと健康福祉という項目になるので、この後の12の目標に該当してくるかと思い、入れていない。
健康推進 GL	(参考資料1「個別目標(12)健康」に基づき口頭にて説明)

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿にどれだけ近づいたかをはかる指標のところ、三つ目がblankになっているのは何か考え中なのか、もう二つで終わりという意味合いなのか。 ・こんなことに取り組みますの説明でもあったが、おしゃれしてお出かけする、病院に行くとかスーパーに買物に行くのではないそういう少し違うモチベーションのあるお出かけの予定が週何回以上ある人の割合のような工夫した指標があってもいいのではないか。
健康推進 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり指標の指摘に関し、blankについては私たちも少しでも多くの指標を持ちたいなと思っいろいろ検討していたが、今回のテーマを健康というところに絞ったところで、この二つとなった。 ・健康を維持するためではなく積極的な外出という部分については、そういったご意見もあるかと思うので一度持ち帰らせていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・体の仕組みからちょっと感じる場所がある。体の傾きなどバランスが悪いと痛みや筋肉の凝りが出てきてしまう。体のバランスを意識してウォーキングするときも姿勢よくやるところということがあるよというPRをしていくことが重要だと思う。そういうことを意識させることが健康に導くと思うので、そういうことと合わせて三つ目の指標を検討していただきたい。
健康推進 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・体のバランス等意識していただくというところでは健診というところで、健康診断のことになりますが、特定の病気を検査するものでない健康状態を把握するということに参加していただくということで対応させていただきたい。 ・PRについては、健康自生地のほうでいろいろなタイプの自生地があり、体を動かす場所とかそういったのも含めて、市内で121を認定している。本年度最初に認定したのが美姿勢と言って美しい姿勢をとるといような運動する自生地を認定した。こういうところを年2回発行している「でいでーる」を含めて皆さんに周知するというのと、まちづくり指標についての検討も改めてしていきたいと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・こんなことに取り組みますの認知症、二つ後ろの「フレイル」という言葉が出てきているが、専門的過ぎて今調べてみたら「健康な状態と要介護の状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態」と説明がしてあり、一言で書かれるとちょっと分からない。こういうことはもっと分かりやすくしてもらえるとありがたい。
健康推進 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単にいうと寝たきりにならないように進行をとどめるという意味であったが、このフレイルという言葉に置き換えられるような表現を検討させていただく。または注意書きで対応させていただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・注書きで用語集に入れてもらえばいいと思いますけど、要介護状態の一步手前と言われているとか。そういう修飾語を入れたら何となくこういう感じかと分かる。

都市政策部長	(参考資料1「個別目標(13)防災・防犯」に基づき口頭にて説明)
委員	・課題のところについて、先ほど言われたように外国人の方が8%と言われたが、それを受けてこの取り組みのとおり、外国人が対象となる取り組みがどう増えるかというのを知りたい。
都市政策部長	・具体的な表示はしていないが、昨年度の取り組みとして外国人の従業員の方の割合が多い企業、たくさん外国人の従業員の方がみえる企業に出向き、外国人向けの防災講座を開催している。地道な活動になるかもしれないが、そういった形で、市内の企業さんの中で外国人の従業員の方が多いところに関して防災講座、そちらのほうに出向くかこちらに来ていただくかというのはまだ検討する必要があるが、そういった取り組みも行っているので引き続き活動として進めていきたいと考えている。
委員	・日本に来て高浜に住んでいるが、高浜の地理さえもまだ分からない方が結構いる。まるごと日本語教室でベトナムとかいろんな国の人に来て、日本語の勉強をしているが、その話を聞いているとまだ本当に、三河高浜駅からどうやったら小中学校に行けるとかいろんな話をしている。ぜひ早めにそういった教育を、どうやってやったら避難できるかとかそういうことを教えてあげたいという気持ちでいる。
委員	・犯罪発生件数を減らそうとするが私の住んでいる吉浜地区では結構泥棒が多い。多少波はあるがああいう街並みなので多いと客観的にも感じられるが、盗む方はどのように見ているかなど専門的な見方を分析していこうと計画している。ただ単に家にカギをかける。自分たちでやりなさいと言ってもなかなかできていないのが事実。高齢化も進んでいるし外国人の方もだいぶ増えているので、そういった関係からみると地域的に話した犯罪を分析して対応していくみたいな方針、行動のようなものをこの項目で取り組めないか。
都市政策部長	・犯罪抑止も含めて答えがなかなか出ないというのが現状。今の取り組みに関しても、まち協の予算のほうで防犯パトロールをしていただいている。そういった活動をしていただきながら、行政としても何かいい施策があればというところで、警察の方とも相談をさせていただきながら考えていきたい。
委員	・警察からの情報っていうのもあるが、なかなかとれない。個人情報の場合当然、分析調査も出来ない。盗まれっ放しみたいな状況がずっと継続していて、何も変わってないと思うが、ちょっと何かこの辺で変えないと、というふうに思うのでぜひ何かの形で入れていただきたい。
会長	・ご意見ありませんか。話がちょっと交錯している。かみ合っていない。犯罪発生を抑制するにはどうしたらよろしいか。
都市政策部長	・今一緒になってまち協さんも含めて町内会さんとも一緒にやっていただいている。また今後もそういった形で何か方策があれば一緒に考えていきたい

	い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・翼まち協は過去に一晩で 5 台の車のナビがとられるという事件があった。隣の人も獲られたのも知らないというので、「うち取られたよ」と言ったらその隣の人も獲られていたということがあって、どのように対処したかというところから赤色回転灯リレーというのを始めた。それ以降ずっと町内会にやってもらっているが翼地区では少なくなった。逆に吉浜の人には「お前らが追っ払ったから吉浜に来たんだよ」と言われたが、そういう効果としては思わぬところである、赤くクルクル回っていると「あっ」ということもあったりして効果になっているのかと思う。
都市政策部長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった犯罪抑止関係の具体的な施策がありましたらご提供いただければと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員として意見します。科学的にはっきり証明されているのは、住民同士の面識度が高いところは犯罪が抑制されるというデータがはっきりしている。だから、「何それそんな簡単なこと」とみんな言うが挨拶運動である。挨拶のない町はよそよそしい町で他人のことに無関心だからやりやすい。そういうところを狙ってくることははっきりしている。私は神奈川県警本部長と対談したときも向こうもそうおっしゃっていた。この挨拶の会話のない町を狙うんですと言っている。NHKのご近所の底力という番組があったときも、それがはっきり証明されている。各まち協でやってくださる挨拶運動みたいなものがその防止力になるという観点、方向になるのでまち協とタイアップするとか、そういうようなことも政策的対応が必要じゃないか。消防団員を増やすとか、防災・防犯リーダーを増やすとかいうことじゃなくて、まち協と結ぶということはもっと大事ではないのかと私は思っている。いい加減な話をしているわけじゃなくて、犯罪統計上ははっきりしている。駐在所単位のデータを行政が集めれば大体わかる。それから継続データでなくても消防の結果は自治体独自で出せる。放火出火の類いは犯罪と連携しているから放火出火が多いところは犯罪が多いと推定出来るので、犯罪データが出なければ放火出火データに変えることができる。これは自治体独自で押さえているデータだから大丈夫でしょう。そういうふうにして書きぶりも見込んでいきませんか。

2) 序章・総論から基本構想までの修正について【報告】	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、議題 2 第 4 章「計画の実現に向けて」以降について、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	(参考資料 2 第 4 章「計画の実現に向けて」以降(案)に基づき説明。)
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これについて意見があればご発言をお願いしたい。 ・ご説明いただいた 29 ページ市民協働と書いてあるというふうに関心したが、29 ページに市民協働という言葉が出てくるか。

総合政策 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働という表現ではなくてここでは主体的にまちづくりに関わっていくということで、そのかわり方の中で、住民自治、団体自治があるというところ、それを説明させていただいている。ただ団体自治、住民自治の書きぶりのところで、作っている側もちょっと難しいなと感じており、何か良いご意見、アドバイスがあればお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の住民自治と団体自治のところだが、住民自治はまちづくり協議会の関係なのかなと。団体自治はここでいうと議会と行政みたいなことになると思うのだが、その2段目「高浜市では私たち」ここから5行がこれだけ長いと途中何だかよくわからなくなってしまう。やはりもう少しわかりやすくするために、文章を短くしていったほうがよく分かるのではないかな。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これはおっしゃる通り文章を二つか三つに割ってもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・文章のほうを分割するよう調整する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これも住民自治と団体自治のところだが、私たちが自治基本条例を決める頃にいろいろ議論に携わっていたから分かるが、今新しく人が変わったりなんかしてくるとさっきおっしゃったように、身に近い言葉じゃなくてわかりにくいので環境も全然変わってると思っている。今の環境で決めた自治基本条例が、こういうふうに使われて動いてますよっていうことを解説版みたいなもので見せていただければいいと思う。 ・計画の進行管理について第6次するときも、委員に選ばれたり、選ばれなかったりで結局分かったことと分からなかったこといろいろあったが、今回、特に最初の考え方で基本構想の中で、フォアキャストでなくてバックキャストということを中心に進めますという考え方がよく分からない。分からないというのは、それぞれの基本計画が、質問にあったように、抽象的にまとめてないところがあるのでそういうところを、どのようにフォロー管理していくことになるのか。具体的に週に一度とか、三か月とか三年に一度あるのか。そのときのメンバーも違うメンバーでやるのかということ。どういうふうに関わりでつなげるかっていう最初のキャッチフレーズもあったが、大家族をどうやってつないでいくのか全く見えない。人もだんだん変わってくる。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは今の論点についてお答えいただきたい。自治基本条例の意義、位置づけについてももう少し簡潔にわかりやすく。なぜあるのかっていうことを付け加えてほしいということ。 ・フォアキャストとバックキャストというのはここにはちょっと出てこないがもう少しわかりやすく書いてもらいたいということ。 ・中間評価はどのような仕組みであるのか。今までは推進会議のメンバーでやってきたが、この推進会議方式であるということでお答えになるのではないかな。先ほどの二点についてお答えいただけるか。
総合政策 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例、資料編には参考で記載をするが、自治基本条例の中に書いて

	<p>あるものとは住民自治・団体自治の中でも含まれている、そのことを書くことでもう少し分かりやすくなるかもしれないので、今いただいた意見を参考にしながらこちら辺の書きぶりを盛り込んで変えていきたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックキャスティングとフォアキャスティングの部分だが、これが前回審議会の中で出た資料の中には書いてあった。バックキャスティングについてはまず目指すべき目標を決めるところを今回重視している。その目標に向かってどんな取り組みが必要なのか。取り組みを実現するに当たってどんな壁がある、現状高浜こんなふうになっている、そういった考えで今回はつくっている。フォアキャストは昔だとよくあったが、ワークショップをやったときに現状の高浜の課題を洗い出し、解決方法を考えていた。それが本当に目指したいまちの姿につながっていくのか踏み込んだことがなかったかと思う。目指したい姿をしっかり持つことで、いつまでに何をしないといけないかを考えていくことで、いろいろ時代が変わっても、目標自体は変わらずに目指していける。取り組み自体は変わっていくかもしれないが、目標はぶれることがない。行き着きたい未来の姿に行き着くことができるという形で今回作っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・財源確保について。税金や補助金などいろいろあるが、その中でもふるさと納税。これはある程度のアイデアで増やすことができるのではないかと。今の二倍、三倍にするなどその辺の施策をとることは可能か。
総合政策 GL	<ul style="list-style-type: none"> ・少し前まで一億円を目標にしてきたが昨年度達成した。今のところ更なる目標額については掲げていない。ふるさと納税の市場規模が大きくなっているので逆に言うと、高浜市民が外に寄付をする金額も増えている。税収確保という面ではどんどん目指していきたい。アイデア勝負の面もあるのでそういった部分、市民の皆さんも一緒に協力していただけるとありがたい。そういったものも含めて今回計画の中で書いている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでいったん打ち切る。 ・委員、ご意見ご助言があれば発言していただけたらと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析の資料について、短い間で資料をとって変化を見ているものが結構あると思った。同じように増えていくものや減っていくものはその傾向が読み取れる。それでも、それが大きな変化なのか小さな変化なのか見極めていく必要がある。短い間で大きく変化しているものもあるが、それについても5年前、10年前等長い目で見ればとり上げるべき問題なのかという判断をしていく必要がある。 ・指標について、測れるものと測るのが非常に難しいものがあるという話を伺った。前々からある指標だから取りやすいというのではなく、取り組みに対して直接結びついていくようなものを考えられるといい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回、今回と様々な意見が出て、委員の方々それぞれ現場の視点でご発言、ご質問いただいた。実際に成果を測るのはここに出ている三つの指標だけで

	<p>はない。それぞれ住民の方が満足していただけるのが行政サービスの根底である。そういったことを踏まえながら指標だけにとらわれず施策それぞれの目標に取り組んでいくことが大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災防犯について。住民の隣のつながりがあれば犯罪は抑止できるという話があった。今回総合計画はいわゆる自分たちでやっていただくこと、家庭でやっていただくこと、地域でやっていただくことというような形で、新しく一人一人が取り組むことを入れている。今回ヒントが出たが、挨拶ひとつにしてもこの第7次の目標を掲げてやっていくために、住民一人一人、本日ここにお集まりの方はまさにその先頭に立っていただけたらと思うが、私自身、職員も含めてそういったところに視点を置いて取り組んでいかなければならない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これで全ての議事を終了させていただく。 ・今後について、事務局からお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1点目です。コメントシートには、本日及び19日に開催した審議会を合わせて、お気づきの点などありましたらご連絡ください。提出期限は8月8日とさせていただきます。 ・2点目です。次回審議会につきましては別途ご案内させていただきます。 ・3点目です。本日の議事録につきましては前回と同様まとめ次第、委員の皆様へお送りしてご確認いただき、書面で了解を得た上で公開させていただきます。 ・4点目です。19日の審議会でチラシを配布させていただきましたが、総合計画に掲載するしあわせの写真の募集に関するチラシになります。皆様からの応募やお知り合いの方にもご案内していただければありがたく存じますのでよろしく願いいたします。連絡事項は以上となります。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これをもちまして終わりたいと思いますが、最後に私も委員として一言だけ。先ほど委員から指標に関して意見があった。指標についてはいろいろ苦労して出していると思うが、できるだけコストのかからない方法で指標を出していただきたい。一番にアンケートをとらないと出ないとかそういう愚の骨頂みたいなことはしないほうがいい。アンケート調査というのは「意識が行動を決定する」、「行動が結果を発生する」という論の三段論法に従っている。よくやるのが未知の領域については意識調査をやるが、これもよく設計をしないとお金の無駄遣いになる。特に満足度調査。これは住民のわがままを助長することになりかねない面もあるので、満足度という言葉はできるだけ注意して使ってほしい。何でも満足すればいいと言ったらコストかかる。役所の窓口は丁寧で親切なほうが満足度高くなる。だが、その分職員の時間がかかり意思疎通コストも上がる。手続コストも上がる。人員も配置が増えていくことになるから、そういうもので継続することの時代はもう終わっている。むしろ成果はもっと何で求めるかというのをみんなで考えて

いきたい。つまり指標、ポピュリズムの指標を置くなということ。今回見た限りその指標がなかったので安心した。

- それからもう一つ、全体のトーンとして少し、まちづくり協議会、ある意味で住民自治の生命線であるという危機感が少し薄くなっているんじゃないかと思う。今のままで持ちこたえられるのだろうか。次の世代の担い手が生まれてくるようなシステム開発はどこにあるのだろうかと思った。保健福祉医療の分野とか防災防犯でちらっと出てきたが、まち協と実際にどれくらい深く関わってやっていくのかという危機感をもう少し滲み出してもらえたらうれしい。あと何年持ちこたえるかいうところまで来ているのでこの仕組みが要らないっていうんだったらそれで結構。でもそうでないと思う。これがなくなったら高浜市はハイコストな町になる。そこを定めてくださってる住民自治のシステムをどのようにすれば持続可能な状態に持っていけるのかということは皆さん総力を挙げて考えてください。これは部局別に関係ない話じゃない。どの部局も全部関係する。ということを上申上げて私の意見とする。
- それから先ほどの少し難しいなという話でお聞きになってたかもしれないが、PDCA に対して OODA とかになってた。実は大して難しい話じゃなくて PDCA の P の部分を三つに分解してさらに詳しくしただけ。プランを立てるその中に、現状確認、データ把握、そしてその解決すべき方策の設計、そのうちの最適方策の選択決定。というのが実は P。PDCA の P 一つだけしか説明してない。もっと詳しく説明するってことで精密にやろうというふうに理解してください。
- 以上をもって第7回総合計画審議会を終了いたします。